

2026年2月号をお届けします。大寒も過ぎましたが、まだまだ寒い日々が続いています。ベネズエラ、ガザ、ウクライナ、イラン、グリーンランドなど、戦争や不穏な政治情勢の国が増えています。これらの国の子どもたちの状況はどうなっているのかと心が痛みます。2月も終われば、春はもうすぐそこです。春が待ち遠しい今日この頃、紛争が早く終わることを願ってやみません。

さて、本号の特集は「食物アレルギー」です。さまざまな小児食物アレルギーについての総説をいただきました。「学校における食物アレルギー対応給食チェックシステムの導入」では、献立を従来の紙での目視チェックからデジタルに替えコンピュータ(スマートフォン)でチェックできるようにした実証実験の報告です。すぐにAIがアレルギー対応のチェックや献立を作るようになるでしょう。「アニサキスアレルギーを見逃さないために」では小児科医が知っておくべきアニサキスアレルギーについて解説していただきました。本症の頻度の多さに驚かされます。「アドレナリン自己注射薬の誤射」では、エビペンはめったに使わないうえに、状況が状況だけに慌てて使い、誤った使い方をして、なおさらあわてるということがないように、対策が述べられています。1回は実際に握って練習しておくことが重要と思います。「牛乳経口負荷試験」では、できるだけ完全除去がないように小児科医が努力すべきと説かれています。「小児経口負荷試験の総負荷量予測判定に有用な抗原特異的IgE AVIDITY」では、従来は口負荷試験の負荷量の決定が、ある程度専門医の経験に基づくものであったのを、検査データから推定しようという試みが詳しく概説されています。

す。以上、身近な問題である小児食物アレルギーについて小児科医が知っておくべき知識が網羅されている特集です。

特集以外にも総説が載っています。「乳幼児に対する内視鏡検査」では乳幼児への胃カメラ、大腸カメラについての解説をいただきました。「先天性心疾患児の栄養管理」では先天性心疾患児でみられる栄養不良について対策が解説されています。「夜尿症に併存する便秘症を診るコツ」では両者が併存することがあること、その際の便秘の治療法について解説されています。また「乳幼児健診のデジタル化」では、母子手帳をデジタル化することで得られるメリットについて、とくに公衆衛生行政で役立つ点について述べられています。「鹿児島県の小児死亡例における死亡小票からの検討」では、死亡小票からのみでは死亡検証に限界があることが述べられています。「先天代謝異常における最近の話題」として、この領域の新しいトピックスが紹介されています。「0歳から2歳児の溺水」では著者の経験をふまえて、文献やデータに基づくオピニオンです。また、症例報告も1編載っています。

「最近の外国業績より」では日本医科大学小児科教室から栄養・代謝・内分泌に関する論文を紹介いただきました。「目で見える小児科」では食道異物による気道狭窄から心肺停止に至った1例が載っています。

以上、非常に充実した、盛りだくさんの、日常診療に役立つ内容になっていますので、ご一読くださいますようお願い致します。

(中西 敏雄)

編集：中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第67巻 第2号 2月号

2026年2月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,410 円（本体 3,100 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 50,820 円（本体 46,200 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 前田 達也

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165〔雑誌部直通〕

Tel 03-3811-7184〔営業部直通〕

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03-3637-0005

広告申込先 株式会社文京メディカル Tel 03-3817-8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌を AI（人工知能）分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。